



種足小だより

NO. 3 6月号
令和6年6月1日
在籍児童数132名

秋山木工に学ぶ一流の育て方

校長 青木 久永

ポピーやバラに続き、アジサイの季節になりました。入学から2か月、1年生は急成長しています。授業中は先生の話をよく聞き、早くも学習端末(パソコン)を使った勉強をしています。学ぶこと、わかること、できるようになることが、楽しくてたまらない様子です。みんな元気が良く、表情がキラキラ輝いています。

運動会には御来賓をはじめ、多くの皆様に御来校いただきました。練習成果を発揮し、赤組・白組の枠を超えて、全力で競技や演技する姿を披露でき、大きな声援が子供たちにとって励みになりました。

6月8日(土)資源回収では、種足の皆様にはお世話になります。この収益金は、本校の教育活動に役立てられます。一方、PTA活動の負担軽減も課題です。そのため、資源回収は年3回から2回(6月・11月)の実施に変更しました。なお、アルミ缶は、体育館の南側に設置してあるカゴで、常時回収しています。

6月からは、子供たちが楽しみにしている水泳学習が始まります。加須消防署員による救命救急講習(AEDを使った心肺蘇生)、監視体制の確認、緊急時の対応など、安心・安全には万全を期してまいります。

おかげさまで、種足小はよりよい方向に変わってきています。加須市の広報『KAZO』6月号には、種足小ひまわり学級の環境教育の取組が特集されています。屈託のない素敵な笑顔が表紙を飾っています。保護者・地域の皆様、関係機関と連携・協働し、人と自然とふれあうことの楽しさを「心」で感じています。

さて、4月からトラック運転手の時間外労働が規制され、輸送力低下や人手不足が懸念されます(2024年問題)。これは学校も同様で、長時間勤務を改善しなければ採用試験日を繰り上げたり、教職調整額を10%に引き上げたりしても教員不足の解消は難しいでしょう。教育、運輸をはじめ、働き方改革は喫緊の課題です。

皆様は、横浜市にある家具製作会社「秋山木工」を御存じですか。人間性を重視した独自の職人育成制度で注目を集め、国内外から見学者が訪れています。「一流の職人」を目指し、入社した新人は、住み込みの共同生活で5年間修業する、いわゆる“丁稚(でっち)奉公”。令和の時代に、タバコも恋愛もスマホも禁止、家族への連絡は手紙だけ。男女問わず丸坊主、5時起床でランニングと地域の掃除、炊事も当番制。

それでも、秋山木工で5年間の修行を終え、腕を磨いた「一流の職人」は、迎賓館、国会議事堂、宮内庁、高級ホテル、百貨店、高級ブランド店、美術館等の特注家具の製作など、全国で活躍しています。

しかし、ここ数年は、新人が入ってきても長続きせず、毎年10人以上いた入社希望者も減り続け、2022年にはついにゼロになりました。秋山利輝代表(80)は、「半世紀近く続けてきたやり方は、もはや時代に合わない」と決断します。これまでの丁稚制度を見直し、自宅から通う外弟子を取ります。育成方針の大転換です。

内弟子はこれまで通り住み込みの共同生活で修業をしますが、外弟子には厳しいルールは求めず、全てが自由。新体制になった秋山木工には、内弟子と外弟子、合わせて4人の新人が入社しました。

2023年7月、中学を卒業して入社した内弟子(15)が、若手職人日本一を競う「技能五輪」の県予選を突破し、全国大会への出場を決めます。「金メダルを取って、母親に親孝行がしたい。」という夢に向けて練習に打ち込みました。かつて獲得メダルの最多記録を誇っていた秋山木工の誇りを取り戻すため、先輩たちの指導にも熱が入ります。しかしながら、結果は惨敗一。厳しい現実が突きつけられました。

この様子は、フジテレビ「ザ・ノンフィクション」(日曜、14時)で放送されました。秋山利輝代表は、孫ほど年の離れた若者に本気で向き合い、「一流の職人」に育てることの難しさや、世代間の限界を感じています。

経営学で「平時のイノベーション(innovation)」と言われるように、順風満帆な時こそ、実は改革が必要なのです。自動車業界では、人気の車種が売れている時であっても、改良や新型に向けた開発を進めています。そうだとすると、秋山代表の職人育成方針の転換は、時機を逸した感も否めません。イノベーションを興す上で最も大切なのが「目的」であり、目的の重要性はドラッカーの時代から言われ続けています。

秋山木工の姿が、今の学校と重なります。問題が目に見える(有事)ようになってからでは、対応が後手に回ります。校長室のドアを時々閉めて、「学校経営構想」を眺めながら沈思黙考したり、情報収集をしたりしながら、本校の現状分析、進むべき方向性、課題解決に向けた新たな一手を考えています。

秋山木工では、一流の基本といっても特別なものは一つもありません。職人としての心構えを説いた『職人心得三十箇条』にある礼儀、感謝、尊敬、気配り、謙虚な心など、昔から日本人が実践してきた教えばかりです。人としての基本を大切にすれば、「心」は自然と育つ。心が一流になれば、技術も必ず一流になる。

本校は重点課題に「心の教育」を掲げています。秋山木工の職人育成制度を参考に、いかに教職員を育て、子供たちの「心」を豊かにし、目指す学校像「夢や希望を育み信頼される学校」という目的を実現するか。

今日も教室を回って授業を観察したり、自主学習ノートを通して努力を励ましたりしながら、時々ドアを閉めて考えます。「悩みは成長の種」「責任は全て自分」(秋山利輝)。校長の迷いは尽きません。

避難・児童引渡し訓練を行いました



5月2日(木)に、震度5強の地震が発生したことを想定し避難・引渡し訓練を行いました。保護者の皆様の御協力により、円滑

に実施できました。ありがとうございました。

地震ばかりではなく、荒川の水害等の発生時においても引渡しを行うことがあります。もしもの場合に備えて引き取り人や連絡先の変更等がある場合は、担任までお知らせください。

通学路安全点検の結果について

通学路安全点検への御協力ありがとうございました。以下のとおり市に改善を要望しました。

- ①環境科学国際センター付近…水路への転落防止
- ②環境科学国際センター付近…横断歩道の再塗装
- ③新種足橋…グリーンベルトの修繕
- ④榎戸交差点…横断を待つ歩行者の安全対策
- ⑤ふるさと広場付近T字路…信号機の設置
- ⑥種足小前の県道…歩道の修繕
- ⑦戸室のコイン精米所付近交差点…横断歩道の設置
- ⑧泉蔵院付近T字路…路面標示と標識の修繕
- ⑨栗原建設付近交差点…路面標示と標識の修繕



他にも通学路の危険箇所がありましたら、教頭(73-0199)まで御連絡ください。現地を確認して対応を検討し、市に改善を要望します。

とうもろこしの苗植えを行いました

5月22日(水)に、4年生がとうもろこしの苗を植えてきました。学校応援団の石川さんの御協力をいただき、苗の植え方を教わった後、一人一人が心を込めて植えました。7月の収穫に向け、草取りなどの手入れをしながら、とうもろこしの成長を見守っていきます。

種足小学校では、地域の皆様の御協力をいただき、子供たちに様々な自然体験を行っています。活動を通して、自然を大切にする心が育まれています。今後は、さつまいもの苗植えや田植えを計画しています。地域の皆様、いつも御協力

いただきありがとうございます。



6月の主な行事予定

日	曜	行 事 等
1	土	
2	日	
3	月	新体力テストWeek(～7日)
4	火	B日課5時間 二者面談④
5	水	B日課5時間 二者面談⑤ 1・2年フッ素塗布 6年はみがき指導 給食費等口座引落し1回目
6	木	救命講習(AED)5時間授業
7	金	3年社会科見学 2年読み聞かせ
8	土	PTA資源回収
9	日	PTA資源回収予備日
10	月	校内硬筆競書会 委員会③ 教育相談日
11	火	5年臨海学校説明会
12	水	第1回学校応援団会議 ふれあいデー(16:30退勤)
13	木	プール開き 硬筆展公開① スクールカウンセラー来校(午前)
14	金	尿検査(2次) 硬筆展公開② 3年読み聞かせ
15	土	樹木消毒(午後)
16	日	加須市総合水害広域避難訓練
17	月	給食費等口座引落し2回目
18	火	
19	水	6年社会科見学
20	木	
21	金	4年読み聞かせ 第1回学校評議員会
22	土	
23	日	
24	月	クラブ③ 4年自転車免許講習
25	火	
26	水	ふれあいデー(16:30退勤)
27	木	表彰集会
28	金	5時間授業 学習参観 一斉下校 読み聞かせ5年 第3回PTA役員会 第1回学校保健委員会
29	土	樹木消毒(予備日)
30	日	

7月の主な行事

- 1日(月) 一斉漢字テスト 委員会④
安全パトロール会議
- 2日(火) 一斉計算テスト
- 4日(木) 5年臨海学校①
- 5日(金) 5年臨海学校② 読み聞かせ6年
- 8日(月) B日課5時間 教育相談日
- 9日(火) B日課5時間
- 10日(水) B日課5時間 大掃除 ふれあいデー
- 11日(木) 4時間 スクールカウンセラー来校(午後)
- 12日(金) 4時間 読み聞かせ ひまわり
- 16日(火) 4時間 定時退勤ウィーク(～19日)
- 17日(水) 4時間 民生児童委員会
- 18日(木) 4時間 給食終了
- 19日(金) 第1学期終業式 一斉下校
- 21日(日) 夏季休業日(～8/28)

※変更の場合は、連絡アプリでお知らせします。